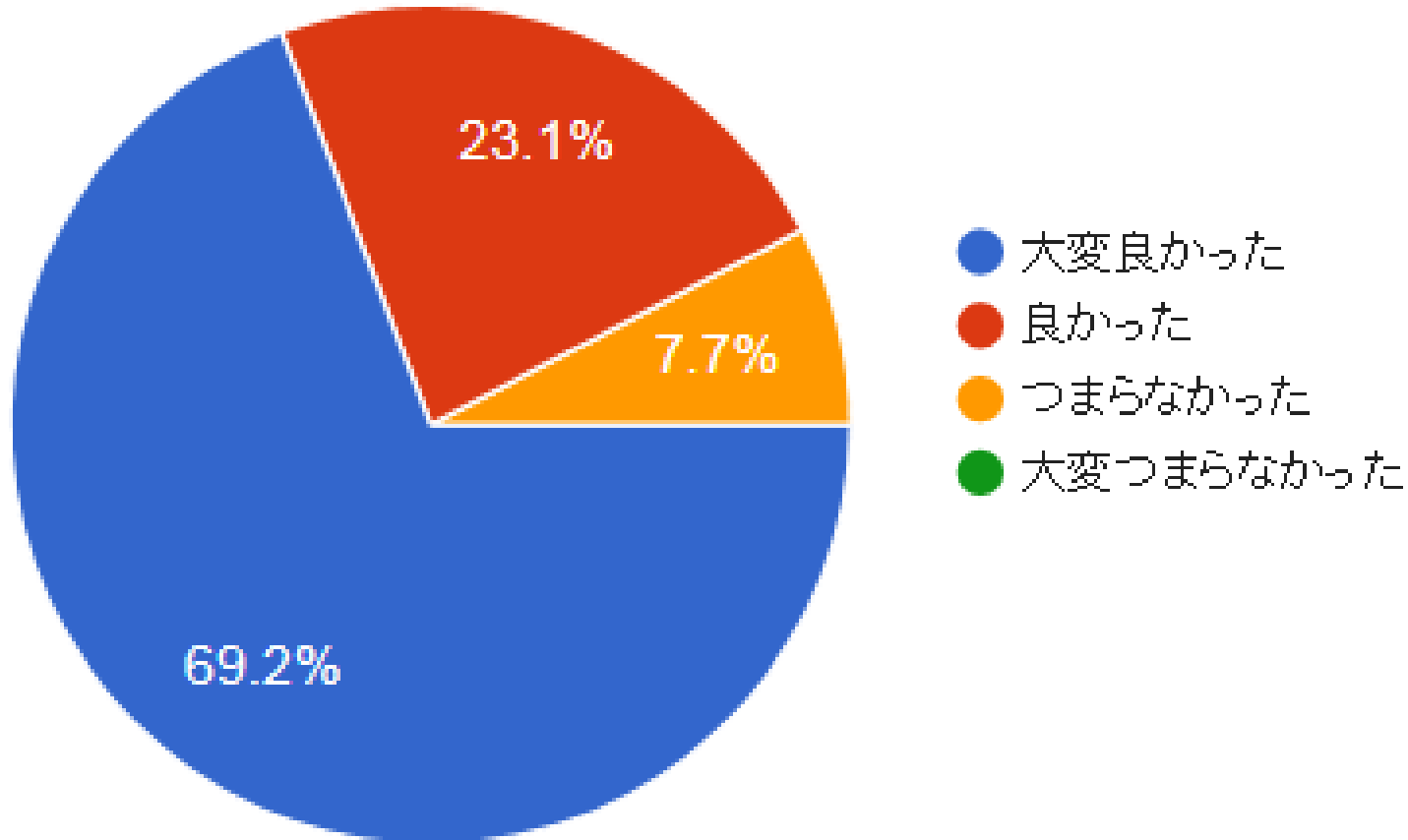


第6回 若手PU塾 振り返りアンケート結果

1. 第6回 若手PU塾の感想(回答数13)



回答者の93%が「大変良かった」、「良かった」と回答しており、回答者にとって有意義な講義となったと思料される。

第6回 若手PU塾 振り返りアンケート結果

2.若手PU塾の感想を漢字一文字で表してください。また、その理由もご記入ください。

漢字集計結果

伝・・・2票

(理由)この技術を後世に伝えたいと思う技術者がいるからこそ、日本固有の技術が残っていくのだと感じたから。

保・・・2票

(理由)歴史的建造物の保存や古くからの利水技術についての知見を得ることができたため

歪・・・1票

(理由)使命感や技術を追求(=歪んだ技術者の思い)しすぎた結果、一般市民の心が離れてしまっている現状に、思わぬ方向から一石を投じてくれた。

違・・・1票

(理由)入社してから学んだ技術は利益を確保する為の技術だったから

(その他)敬、改、文、難・・・1票

伝統を保存していくという講義の主題をとらえた「伝」と「保」に2票ずつ集まった。また、「歪」や「違」など現代の土木エンジニアが抱える心の葛藤を見出した受講生もいた。

第6回 若手PU塾 振り返りアンケート結果

3.第6回若手PU塾の講義の内容を今の会社の業務にどのように活かすか？

アンケートの意見を集約し、回答の趣旨ごとに整理を行った。

視点を変える

- ・物事を幅広い目線で見ると、考えることの重要性を浸透させる。
- ・市民目線、市民主体のインフラの維持管理について考えるきっかけを頂いた。
- ・自分の視野は広がっている。
- ・凝り固まった思想にとらわれず、常に新しい目で業務に取り組んでいく

自社の工事に活かす

- ・常盤橋の修復工事の施工はゼネコンが請け負っているとのことなので、自社においても今後そういった分野に携わる可能性があります。
- ・文化財保護などの現場に直面したとき(に役に立つ)。
- ・仕事をする価値を考える題材としたい。

ビジネスに活かさない

- ・「趣味の世界」というのがふさわしい。

今回の講義にて同じ土木でありながら「別の世界」へ触れた受講生が多かったことが分かる。視点を変えることは物事を客観的に見るのに必要であるが、同時に、新たな発想を生み出す源となる。これからも、「趣味の世界」を知る機会に触れることが重要かと思われる。